

令和7年12月の景色



センニンソウ キンボウゲ科 センニンソウ属

陽の光を受けて白く輝いているのは、センニンソウの種（茶色）についた綿毛です。

「綿毛が仙人のひげに似ていることからセンニンソウと呼ばれる」と言われています。

右下の写真は綿毛が開く前の状態です。種もまだ緑色ですね。

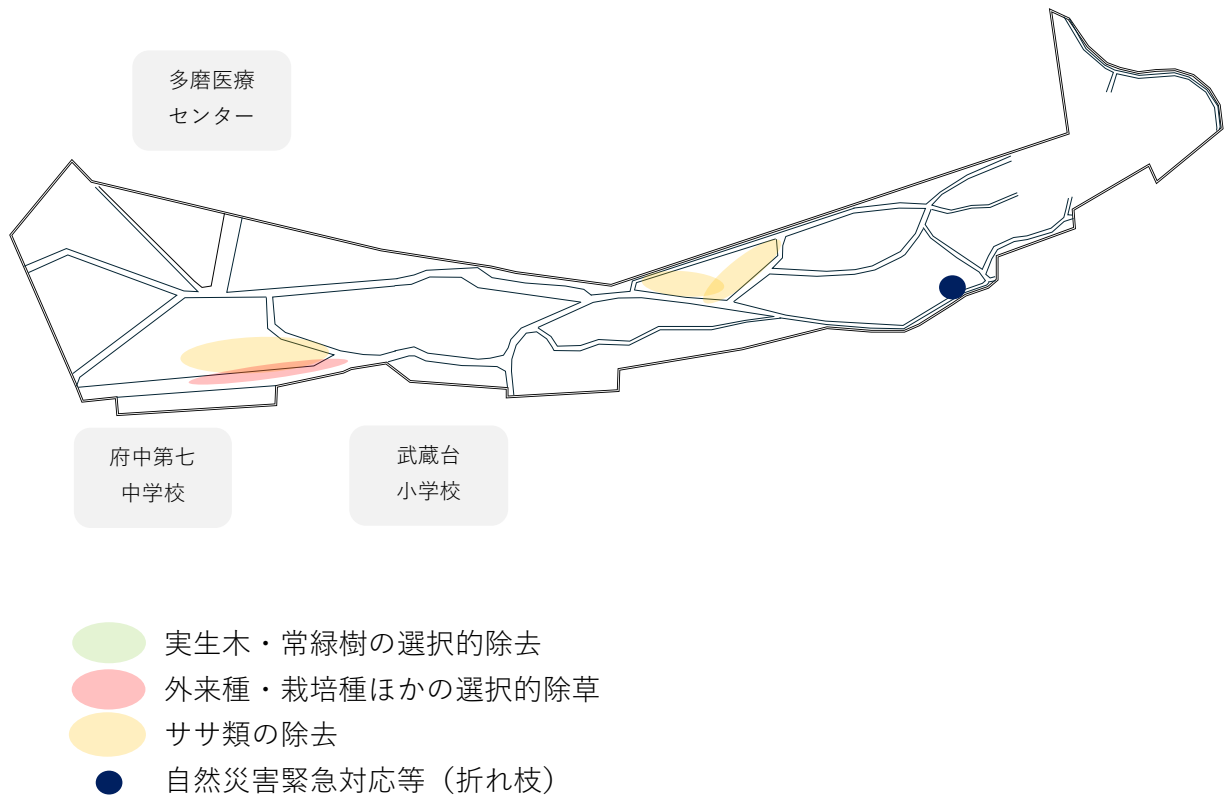
日当たりのよい道端などに自生するつる性の多年草で、武蔵台緑地ではテニスコートの北側や、緑地西側にあるカーブした階段などで見ることができます。

ガーデニングでも人気のクレマチス（園芸種）も同じセンニンソウ属の仲間です。

業務の実施内容

- ・選択的除草
- ・ササ類の除去
- ・定期巡回・点検
- ・自然災害緊急対応等
- ・ボランティアとの協働（市民協働）
- ・判別調査（植物相調査）

作業箇所図



選択的除草

陽当たりのよい道沿いでは、外来種の草が茂ってしまうことがよくあります。写真の植物はコネズミガヤというイネ科の植物で、原産地は北アメリカだそうです。茎に見える部分が倒れて地面につくと、そこから根を出すため、どんどんと茂ってしまいます。繁茂して砂利道を狭めるとともに、在来種の生育エリアへ侵入するおそれがあるため、選択的にこの外来種を除去しました。



砂利道で繁茂したコネズミガヤ



コネズミガヤ

ササ類の除去

武蔵台緑地の「植生管理ガイドライン」では、目標とするササ類の高さが示されています。
それらの方針に沿って、ササ類を刈り取りました。



作業前



作業後



作業前



作業後

定期巡回・点検

緑地内を巡回し、捨てられたごみの回収や樹木・設備等の破損がないかの確認をしました。



食料品の包装や空き缶が多く投棄されています



玉砂利の投棄

自然災害緊急対応等

強風によって落ちてしまった枝を撤去しました。



ボランティアとの協働（市民協働）

府中市環境調査員会議との協働 自然環境調査（植物班）

毎月1回開催される自然環境調査（植物班）に同行し、調査をしています。

調査日以外に見つけた生育場所・状況等については随時、情報提供をしています。



マユミ

緑地内に多く生育する樹木ですが、今年は2つしか実を見つけることができませんでした。



ツルグミの花

武蔵台緑地保全ボランティアとの協働

緑地整備活動に同行し、手入れ内容や方法についての助言や植物生育状況などについて情報提供をしています。今月は落ち葉清掃を実施しました。

他の自治体から視察団が訪れました

武蔵台緑地での生物多様性管理の取り組みについて、他の自治体から視察団が訪れました。

この緑地に関係する府中市公園緑地課、環境政策課、そしてこの緑地の植生管理ガイドラインを監修した地元・東京農工大学の吉川先生に同行し、実際の手入れについて感じていることなどをお話しさせていただきました。

大人数での活動を長年続けていらっしゃるボランティア団体の方々のお話しも伺うことができ、有意義な交流となりました。



現地での視察のようす

判別調査（植物相調査）

こまめに実施し、毎月1回の自然環境調査では確認していない時期や場所での植物の生育状況を記録しています。目に留まるものがあれば、鳥や虫についても記録しています。



この時期になっても花を咲かせていたマヤラン



胞子葉を伸ばしたオオハナワラビ



コウヤボウキ 花 今年は花が少し増えました



ヤブコウジ 小さいながらも目立つ赤い実



シュンラン 蕾

開花は3月頃ですが既に蕾が準備されています



動物の観察

鳥の巣でしょうか？枝で巧みに作られています